



竹平ちはるニュース

平成29年1月 発行者 江戸川区議会公明党 竹平ちはる TEL/FAX 5876-7376

平成28年第4回定例会で一般質問!

去る12月2日の第4回定例会において本区における諸課題について、多田正見区長に質問しました。

概要についてご報告いたします。

1. 受動喫煙防止策について

問 4年後の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、今後の受動喫煙防止策の取り組みは。

答 区としても普及啓発に取り組んでいるが、期待どおりの成果はまだ出していない。オリンピック・パラリンピックに向けて国も過去の開催国と同等水準に向けて対策の強化に乗り出しており、この機会を捉えて、なお一層取り組みを強化していく。(区長)
今後もタバコの害の認識が深まるよう積極的な啓発に努める。(健康部長)

2. 高齢者の見守り支え合うネットワークづくりについて

問 ①高齢者の緊急連絡先や医療情報等を登録し、身元確認に役立つ「見守りキーホルダー」の活用を。
②地域で高齢者を見守り支えている団体などを紹介する地域資源マップを作成し、区のホームページなどで区民にPRをし、見守り支えあうネットワークの強化を。

答 ①取り入れていきたいと考えている。
②地域で活動している団体と連携した地域のネットワークの構築は、「なごみの家」の役割の一つである。活動団体の把握と周知を行っていく。(福祉部長)



3. 認知症対策の更なる取り組みについて

問 ①スマートフォンなどを活用した認知症行方不明者の捜索、見守りの取り組みを。
②小中高校生から高齢者まで幅広い区民が認知症サポーター養成講座を受講できるよう講師役となるキャラバン・メイトの増員を。
③認知症サポーターのより実践的な活動を推進するため、ステップアップ講座の開催を。

答 ①「迷い人台帳」への登録等により、スマートフォンでも見守りのできる体制を構築している。今後は江戸川メールニュースの活用なども視野に入れ、認知症行方不明者への対応を強化していく。
②区主催のキャラバンメイト養成講座を開催予定であり、積極的に増員に取り組んでいく。
③認知症サポーターの活躍の場の拡大のため、区でもステップアップ講座を実施していきたい。(福祉部長)

4. ひきこもりの社会復帰支援について

問 生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業の早期実施や各分野での連携など、ひきこもりの社会復帰に向けた支援体制の構築を。

答 来年度に就労準備支援事業を実施し、関係機関と連携し、自立支援を行っていく。(福祉部長)